

令和元年度 議会報告会
委員会報告 質疑応答概要

令和元年11月8日(金) 開催

質問項目	要 旨	
吉倉地区周辺まちづくり	Q	吉倉地区周辺まちづくり事業の新駅構想について、具体的な開業目標・目処・名称は。
	A	昨年度、地形や文化財等の調査を行ったところであり、現在取りまとめをしている。これからどのような形になるか計画をしているところ。早いうちに整備をしたいという思いは聞いているが、具体的な開業の時期、内容について正式には決まっていない状況である。
大栄地区小中一貫校	Q	大栄地区の新しい学校の設計図を公開してほしい。
	A	図面や設備の状況については公開出来るように意見として頂戴する。
	Q	児童数減少の中で、こんな豪華な校舎を建ててもオーバースペックになるのでは。この規模の校舎について、何年ぐらい適正に使われていくかの見通しは。
	A	何十年この校舎が使われるかについては現段階では答えられない。
ごみ・行政視察	Q	ごみの問題について。経済環境常任委員会の静岡市・神戸市への行政視察において、その市と比較し、どのような点が参考になったか。今後成田市へ取り入れていくのか。
	A	静岡市の食品ロスの削減の取り組みについて、市内のスーパーやコンビニの事業者と連携し、消費期限が切れそうな商品を優先的に購入しようと啓発活動を行っていることが特徴的だった。本市は事業系ごみが多いが、本市の食品ロスの削減についても調査研究してもらいたいと思っている。 神戸市の市内ファーストフード店では、コーヒーの豆殻を固形燃料にするという取り組み。ただ、費用が莫大にかかるという課題がある。食品残渣の堆肥化も調査研究事項であると思う。固形燃料化については費用対効果も考え、まずはごみ減量の対策、違う形で堆肥化する取り組みが必要であり、委員会としてこれから議論していくものと思う。
災害時の対応	Q	体の不自由な方への対応において、個人情報という障害があり、市としてこのような方の情報をどのように把握し、どのような対応をしているのか。
	A	自主防災組織の方の協力を得て、そのような方の情報を集めてもらっている。本人の希望を聞き、個人情報を出たくない方について、災害時に状況がわからないことは課題である。改善していくようには考えている。
空港	Q	騒音対策に関して、成田空港騒音対策地域連絡協議会で、四者協議会の合意の前に、市長も騒音下住民の味方になってくれると約束していたのに、時間制限解除によって多くの住民が0時半まで騒音にさらされることになる。議会として報告を受けただけか。
	A	議会へも説明を受けている。機能強化のメリットは貨物量の増加、インフラ整備等、様々な効果がある。デメリットは落下物増加の懸念、深夜早朝における航空機騒音の増加、周辺道路の交通量増加が考えられる。防音工事をしっかり実施し、内窓設置工事の助成事業の開始をしていると報告を受けている。
	Q	空港対策特別委員会の対応が騒音下住民に寄り添っていない。議員としてチェック機能をする姿勢ではない。
	A	議会として提案されたことは慎重審議して結論を出している。いろいろな地域の方の声の中で、できるもの・できないものを整理しながら、議会として賛成してきたということだと思う。引き続き議会の中で検討し、市や空港会社へ申し入れをしたい。